

●番号案内掲示板の起動時に「WindowsによってPCが保護されました」と表示される件について

このような事が起こることを知ってはいましたが、本ソフトでも起きていた事を最近になって認識しました。というのもプログラム作成の過程でVisual Studio でビルドし実行してもこのような事は起こりませんでした。また、Vectorから検証のためダウンロードしたzipファイルを日頃から使っているLhaForgeで解凍して実行した際も、このような事は起こっていなかったためです。そこで調べてみたところ、以下の理由だと知りました。

ダウンロードしたアプリやファイルを使用する際に、「WindowsによってPCが保護されました」と表示されることがあります。

これは、パソコンに危害を及ぼす可能性がある場合に、パソコンを保護するために表示される画面です。安全なアプリやファイルでも、発行元が不明な場合や、ダウンロードされた実績が少ない場合に表示されることがあります。（NEC LAVIE公式サイトQ&Aより引用）

また、「アプリやファイルの**安全性が確認できる場合**に「実行」をクリックします。」との記載もあります。

私は悪意のあるプログラムを作っていないし、簡易なものですがアップロード前にWindows defenderでウイルスチェックを行っています。

Vectorが行うチェックについても『Vector』のウイルスチェック体制”として公開されております。

しかし私は**安全なアプリ**であることの**証拠を提示することができません**し、ウイルスやマルウェアに関わらず**番号案内掲示板の使用により直接または間接的に危害を生じる可能性について”絶対ない”**とも言えません。”使用は不適切”と判断された場合は警告画面の「実行しない」ボタンを選択し、削除してください。そうでない場合は、以下の手順を参考としてご覧になってみてください。

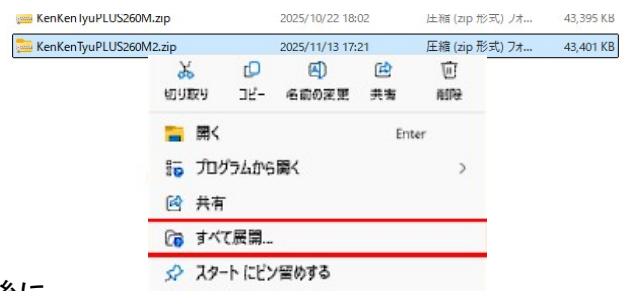
<参考1> Windowsの操作の右クリックからzipファイルを解凍した場合 ※1

※1 あくまでも私の場合の一例であって、全ての場合で結果が同様になるとは限りません。

解凍で出来るファイルのうちexeファイルは次の4つ

- ・KenKenTyuPLUS260M.exe メインプログラム
- ・SilentPlayerKKT21.exe 音欠け対策プログラム
- ・scrTyuフォルダ内のscrTyu015.exe スライドショー
- ・WebView2_Runtime_Checker.exe

WebView2のランタイムの有無をチェック



zipファイルを右クリックし”すべて展開”から解凍した後にKenKenTyuPLUS260M.exeを実行すると図1の警告がでました。

図1

図1の赤矢印部分”詳細情報”をクリックすると図2の警告に変わり、アプリの名称と発行元が表示されます。自作ソフトのほとんどは不明な発行元だと思います。この情報で安全性が確認できるはずありませんが、それを理解したうえで実行する場合は図2の実行ボタンを押します。これで本ソフトが起動します。

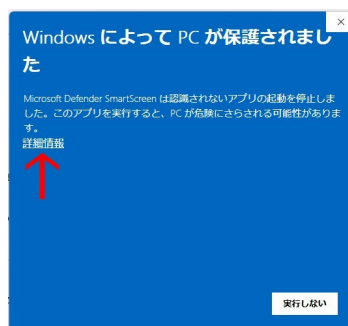
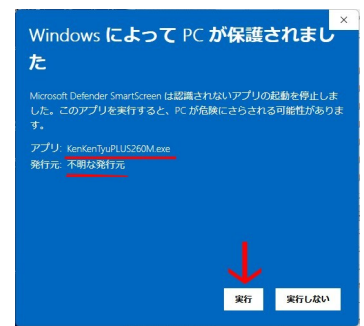


図2



本ソフトの初期設定では起動時にSilentPlayerKKTをソフト内部から起動します。しかし今度はこれがチェックに引っ掛かり起動できません。またソフト内部から起動するためなのか図1の警告はでませんでした。このような場合は本ソフトの方でメッセージを出すようにしました。右図3

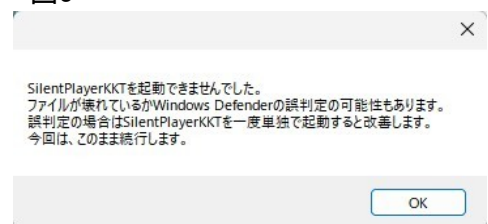
これを避けるためには一旦、本ソフトを終了し 解凍で出来たSilentPlayerKKT21.exeを起動します。

すると図1の警告が出るので詳細情報から図2の実行ボタンを押します。

同様にスライドショーの実行ファイルの scrTyuフォルダ内のscrTyu015.exeにも行います。

または、スライドショーが**不要の場合は**本ソフトの設定<図16-31>でスライドショーを”無効”にします。無効にすればファイル(scrTyu015.exe)は、そのままでも削除してもかまいません。

図3

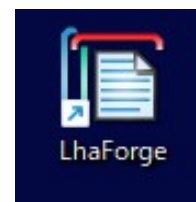


その後、改めてKenKenTyuPLUS260M.exeを起動すれば正常動作し警告やメッセージも出ませんでした。

<参考2> 解凍ソフトLhaForge Ver.1.6.7で解凍した場合 ※1

※1 あくまでも私の場合の一例であって、全ての場合で結果が同様になるとは限りません。

私は普段 zipファイルを解凍するのにLhaForge Ver.1.6.7を使っています。
Vectorから検証のためダウンロードした本ソフトのzipファイルもこのソフトを使っていました。LhaForge を使った場合、なぜか図1のような警告画面は出ませんでしたし、正常に起動していました。(他の解凍ソフトを使った場合についてはわかりません。)
ただし、”ウイルスチェックするのでお待ちください”の趣旨のウィンドウが出たことが何回かあったと思います。この場合もチェック結果に問題はなく正常起動していました。



解凍ソフトLhaForgeを使っていて図1の警告が出た場合の対処ですが
前述の<参考1>と変わりありません。

【ウイルスと判定され削除される場合について】

警告がでることを検証するため zipを繰り返し解凍したり警告を表示させたり、本ソフトの別Versionのexeと取り替えたりと繰り返していたら、Windows defenderにウイルスと判断されファイルを削除されるようになってしまいました。(このことが災いしたかは不明)

仕方なくWindows defenderの設定で対象から除外するようにしたので、当然削除はされなくなりました。
ただ、その後に除外の設定を解除してみたところウイルスと判断はされず削除もされなくなっただけに困惑しております。(まったく同じファイルなのに結果が異なる)

ウイルスの誤判定について調べると、Windowsのシステムファイル変更やレジストリーの変更、ファイルの書き込みなどを行うと誤判定をする場合があることが分かったので、それに近いことはプログラムから削除することにしました。結果、以下のことを中止しました。

- ・モニターの常時電源ONと、スリープへの移行抑制をプログラムから行っていました但し止めました。
- ・WebView2ランタイムのインストールの有無をチェックする自作ソフトの添付中止しました。

このことで改善することを望みます。